



自分の花を咲かせよう

第1号
加茂谷中学校通信
R7.5.1発行

令和7年4月、加茂谷中学校には加中生が植えたチューリップが咲き誇っていました。加中生一人一人が違った個性を持っているように、どの花も色も形も違っていました。『チューリップ』という歌の歌詞「どの花見てもきれいだな♪」には、「一人一人、それぞれにいいところがあるのですよ」とのメッセージが込められています。

始業式では「自分の花を咲かせよう」という話をしました。「自分の花を咲かせる」という言葉は、いろんな捉え方ができます。「自分の個性を伸ばす」とも捉えることができるのではないのでしょうか。

「個性」って何でしょう。グラフィックデザイナー佐藤卓さんは「経験そのものが個性になってゆく。無理やり生み出そうとするものが個性じゃない。」と言っています。

では、どうすれば自分の個性を伸ばせるでしょうか。それは、チャレンジ(挑戦・経験)してみなければわかりません。そして、一生懸命努力するしかありません。努力したからといって、自分が思い描く花を咲かせられるとは限りません。でも、思いもしなかった花が咲くこともあります。

私は、音楽が好きで、「ピアノが弾けたらいいな」と思ってきましたが、「自分には無理だ」と子どもの頃からあきらめていました。そんな私が、この春休み、練習してみようとチャレンジしてみました。そして、始業式、思い切ってピアノを弾いてみました。つまりながら弾き語りした『チューリップ』でしたが、加中生は、しっかり聴いてくれました。拍手までしてくれました。とてもうれしかったです。ありがとう。

チャレンジしてよかった！ぜひ、みなさんも、自分の具体的な目標を作り、チャレンジしてください。



加中チャレンジ1

令和6年度の振り返りで「もっと学年の枠を越えた活動がしたい！」という加中生の声がありました。そこで、一日の中でお楽しみの時間である給食、教室を飛び出して、1年生から3年生みんなで食べることにしました。



「1年生も入って初めての合同給食、スムーズに準備できてよかったです。ちょっと席が離れているので、正面の子より、隣の子の方が話しやすかったです。(生活記録より)」

加中チャレンジ2

今年の鯉まつりは、学年ごとではなく、1年生から3年生まで縦割りグループで模擬店をすることにしました。また、加中生それぞれが、みんなが笑顔になれる鯉のぼり？を作りました。5月4日の鯉まつり、どこかで泳いでいます。楽しみにしてください。

保護者のみなさま、たこ焼きよろしくお祈いします。



令和7年度入学式

5名の新生と保護者のみなさんが、新しく加茂谷中学校のメンバーとして加わってくれました。

入学生呼名に返事する新生の瞳は輝き、たのしい返事の声が式場に響きました。

令和7年度より、新たに示された「阿南市教育振興計画」の教育理念は、『学び つながり 輝け 自分』です。加中生24名がつながり、学び合いましょう。



入学式での3つのお願い

○ 自分と友達を大切にしよう

助け合い、悩みを分かち合い、うれしい時はいっしょに喜び合おう。

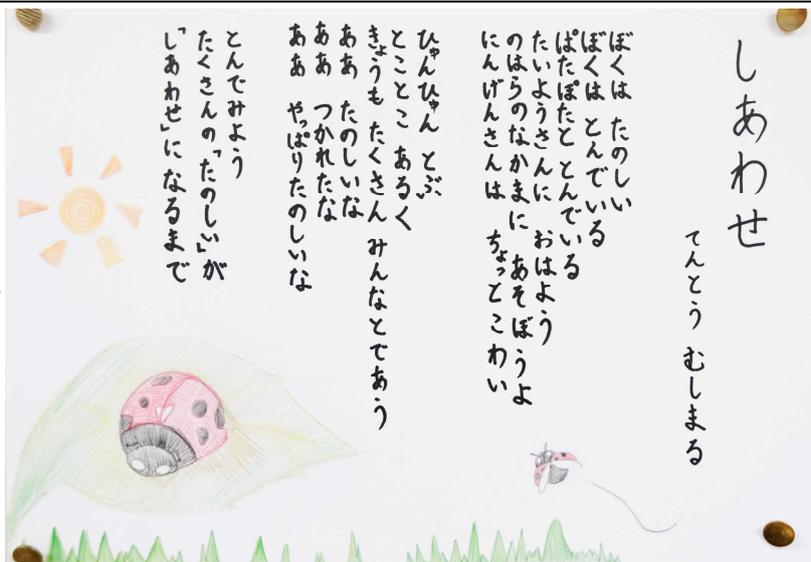
○ よく学び、心身を鍛えよう

みんなが幸せを感じられる社会を築いていける力となれるように、学び合い、心身ともに鍛え合おう。

○ チャレンジしよう

その気になれば、チャレンジする機会はいっぱいあります。失敗を恐れず、挑戦し、努力する人になろう。

一年生の国語科授業での作品



人は、一生懸命（いっしょうけんめい）な時、輝いています。その光は、まわりの人にも伝わります。そして、その光を感じた人が、また、いっしょけんめいになって輝き、みんなつながっていきます。

輝

最近いいことあった？（1年生との会話より）

「今朝、登校中に道路を渡ろうと自転車を降りて待っていると、自動車が停まってくれました。とても、うれしかったです。」

歩行者も自転車も自動車も、みんなで道路をゆずり合い、交通安全を心がけましょう。